

## 中期経営計画（R3～R7）に係る令和 3 年度内部評価の理由と今後の取組

## ○主な事業の達成状況について

## (1) 「達成している」主な事業

## 基本目標 1（主要施策（1）～（3））

- ちば野菊の里浄水場（第 2 期）施設整備における洗浄排水池築造工事の完成  
(主要施策 1 (ア))
- 湾岸埋立地域における管路の耐震化の推進(更新延長: 28.7 km) (主要施策 2 (イ))
- 千葉分場、幕張給水場及び妙典給水場の浸水対策工事の完了 (主要施策 2 (ク))

## 基本目標 2（主要施策（4）～（5））

- 定期及び臨時の水源水質調査等の実施(調査回数: 535 回) (主要施策 4 (ア))
- 柏井浄水場及び園生給水場の配水区域での残留塩素低減化試験の実施  
(主要施策 5 (ア))

## 基本目標 3（主要施策（6）～（8））

- 支払方法の多様化及び手続き等のオンライン化を推進するための実施計画の策定  
(主要施策 6 (ア))
- 「お客様の声」等をもとにした業務改善(改善数: 5 業務) (主要施策 6 (ウ))
- 実践的な技術研修の実施(実施講座数: 22 講座) (主要施策 8 (ア))

## (2) 「達成している」に満たなかった事業

## 基本目標 1

## 主要施策（1）安定給水の確保

## 【達成状況の分析及び課題】

(ウ) (エ) (オ) (カ) について、一部の工事が入札不調となったことや関係機関との調整に時間を要したこと等により、一部工事の進捗に遅れがあったため。

## 【今後の具体的取組】

不調原因を分析し、入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や道路管理者等の関係者と綿密な調整を行う等、計画的に実施する。

## 主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

## 【評価の理由】

(ア) について、設計業務委託の完了が遅れたこと等により、計画していた 2 施設の耐震化工事に着手できなかったため。

(ウ) (エ) (オ) (カ) (キ) について、一部の工事が入札不調となったことや関係機関との調整に時間を要したこと等により、一部工事の進捗に遅れがあったため。

## 【今後の具体的取組】

(ア) については、実施状況の遅れを踏まえ令和 3 年度末に令和 4 年度以降の計画を変更した。目標の達成に向け、発注業務を進める。

(ウ) (エ) (オ) (カ) (キ) については、主要施策（1）と同様、不調原因を分析し、入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や道路管理者等の関係者と綿密な調整を行う等、計画的に実施する。

## 基本目標2

### 主要施策（4）安全で安心な水づくり

#### 【評価の理由】

（カ）について、世界的な半導体不足の影響で想定よりも調達に時間を要する事態となったことにより、8台の更新が年度内にできなかつたため。

#### 【今後の具体的取組】

調達に関する事務を前倒しで実施するなど、計画どおりに更新できるよう努める。

## 基本目標3

### 主要施策（6）お客様サービスの向上

#### 【評価の理由】

（イ）について、例年夏季に開催していた浄水場見学会がオリンピック・パラリンピック競技大会に係るセキュリティ強化のため、中止となったこと、まちかど水道コーナーのイベントが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことにより、見込んでいたアンケート調査が実施できなかつたため。

#### 【今後の具体的取組】

継続してインターネットモニターによるアンケート調査を実施するほか、現地イベントの開催の可否に左右されないアンケート実施手段を検討し、実施する。

### 主要施策（7）大規模事業者の責務と社会貢献

#### 【評価の理由】

（エ）について、一部研修の開催が新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置期間と重なってしまったことから開催を中止したため。

#### 【今後の具体的取組】

新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、適切に開催できるよう努めながら、引き続き、県内全ての水道事業者及び用水供給事業体に、県営水道が行っている水道技術研修（4講座）を開放し、技術向上を支援する。

### 主要施策（8）運営基盤の強化

#### 【評価の理由】

（イ）について、研修内容や新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、グループディスカッション等による交流を主眼として実施してきた若手職員研修の開催を見送つたため。

（キ）について、世界的な半導体不足の影響により一部事業について令和4年度に実施することとなったため。

#### 【今後の具体的取組】

（イ）については、引き続き社会情勢を踏まえ、感染症拡大防止に配慮した研修を検討します。また、研修の実施が困難な場合は、代替手段により効果的な人材育成に繋げる取り組みなどを検討する。

（キ）については、引き続き安定的な情報システムの運用に向けた整備を行う。

## ○成果指標の達成状況（「達成している」に満たなかった項目）

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

### 【評価結果の説明・分析】

成果指標2について、関係者等との調整に時間を要し、進捗に遅れが生じたため。

主要施策（6）お客様サービスの向上

### 【評価結果の説明・分析】

成果指標1について、お客様の関心が高い安全な水や災害への備え、図や写真、目立つ見出しを活用した紙面づくりなどの創意工夫を実施したものの、目標90.0%以上に対し、実績が87.1%となったため。

成果指標2について、「親しみやすくない」「もっと写真や動画を入れて活動をアピールしたらどうか」といった声が寄せられ、満足していただけるホームページとなっておらず、目標80.0%以上に対し、実績が65.9%となったため。

主要施策（7）大規模事業体の責務と社会貢献

### 【評価結果の説明・分析】

太陽光発電やマイクロ水力発電による電力の削減、発生土のリサイクルなどにより二酸化炭素排出量削減を図り、2,941t-CO<sub>2</sub>/年の成果が得られたが、目標の3,300t-CO<sub>2</sub>/年には及ばなかったため。

## ○今後の進め方

主要施策の評価、成果指標の達成状況ともに、「達成している」、または「概ね達成している」と評価しており、全体としては概ね順調に進捗していることから、すべての施策について「継続」とし、引き続き事業を実施していきます。